

南海トラフ地震等に対する総合的な防災施策の実施（内子町）

【取組概要】

- 近い将来発生への恐れのある南海トラフ巨大地震をはじめ、風水害、土砂災害、原子力災害、火事、交通災害等に対して、災害拠点施設の整備などの防災対策、消防車両や消防詰所の整備、防災無線のデジタル化等を進める。
- 消防署・消防団、広域での自主防災組織が連携した自主防災訓練の開催や防災士の育成・連携を図る。
- 安全・安心のまちづくりのため、防災行政無線のデジタル化を進める。

人口 17,708人

担当部署 総務課

事業実施期間 H21年4月～

取組事例のURL

<http://www.town.uchiko.ehime.jp/site/bousai/>



2年に一度、旧町単位で開催する防災訓練

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

1. 庁舎・避難所の耐震化
2. 大規模災害を想定した内子町防災訓練の実施
3. 自主防災組織訓練、防災士養成の推進
4. 防災マップの作成・配布
5. 原子力災害住民避難計画の策定
6. 防災無線のデジタル化

1. 災害対策拠点施設の整備を、国における公共建築物の耐震改修事業の補助金の動向に注視し計画的に実施する。
2. 原発事故への対応を含む「住民避難計画」の見直し。
3. 自主防災組織や防災士のネットワークづくり。
4. 自主防災組織のリーダーの養成と組織づくり。



自主防災会主催の訓練の様子